

# 「とくしま未来創造プラン」の取組み ～徳島からの新たな挑戦～



平成24年7月  
徳島県

# とくしま未来創造プラン ～徳島からの挑戦～

改革により目指す姿

「我が国をリードする政策発信拠点」

基本理念

「新しい発想」で  
「新しい次元の行財政運営」に挑戦

3つの視点

「既成概念からの超越に挑戦」

「スピード感をもって未来を先取」

「県民の皆様とともに創造」

「県民の夢や希望の実現」

5つの重点項目

1 「未来志向の財政構造」づくり

2 「夢を支える経営体」づくり

3 「新しい公共サービスの仕組み」づくり

4 「県民目線の県政」づくり

5 「活力みなぎる職場」づくり

# 1 「未来志向の財政構造」づくり

## (1) 「確かな財政基盤」の構築

### 財政構造改革基本方針の「改革目標」への取組状況

#### 1 「財政中期展望」における「収支不足額」の解消

◇収支不足額の解消 H23からH25までの間に **130億円**

取組状況：H24当初で「47億円」、H23.9月、2月補正の財政調整基金積み戻しで「30億円」、合わせて「77億円」の収支改善

H23.9月補正積立 + 50億円  
H24.2月補正積立 + 20億円  
財政中期展望見込み △ 40億円

#### 2 「公債費」の縮減

◇公債費 H21 **806億円** → H26までに **600億円台**

取組状況：H24当初 **746億円**

\* 一般会計ベース、臨時財政対策債除く

#### 3 「財政調整的基金」残高の充実

◇財政調整的基金残高

**H21末 80億円** → **H26末までに4倍増となる 321億円**

取組状況：H23末 187億円 H24末 **190億円+α**

\* H24は、年度内の「執行段階節減努力等」による40億円の積み戻しを含む。

## (2) 「新たな歳入確保」の展開

### ○「歳入対策企画員室（H20.5～）」により取組みを加速

#### 重点6項目

ふるさと納税

県税徴収率

広告事業

未収金対策

未利用財産

受益者負担の適正化

全庁を挙げた  
歳入確保策の展開

歳入確保実績 H20～H23  
約45億円

まさに一石二鳥ならぬ、  
三鳥、四鳥の効果

H24は、公共土木空間の  
活用など新たな知恵と工夫で  
歳入確保につなげる

PRの強化による

#### 過去最多の「ふるさと納税」

約3,330万円

- ・制度スタート後、  
H23は過去最多の寄附
- ・「防災人材育成センター設置」  
などに寄付金を活用



さらなるPRを図り、  
徳島が大好き、  
徳島の力になりたい  
という想いを「ふるさと徳島」へ！

#### 未利用財産の有効活用

- ・メガソーラー発電企業立地
- ・自然エネルギー発電促進
- ・税収の増加
- ・未利用地の有効活用

土地貸付料  
3か所 約4,200万円/年

SBエナジー(株)  
建設計画中



徳島空港臨空用地（松茂町）

#### 歩道橋ネーミング・ライツ

道路の適正な維持管理に活用



# (3) 「更なる歳出改革」の推進

## 県債残高と公債費の推移

\* 県債残高…減少基調を堅持

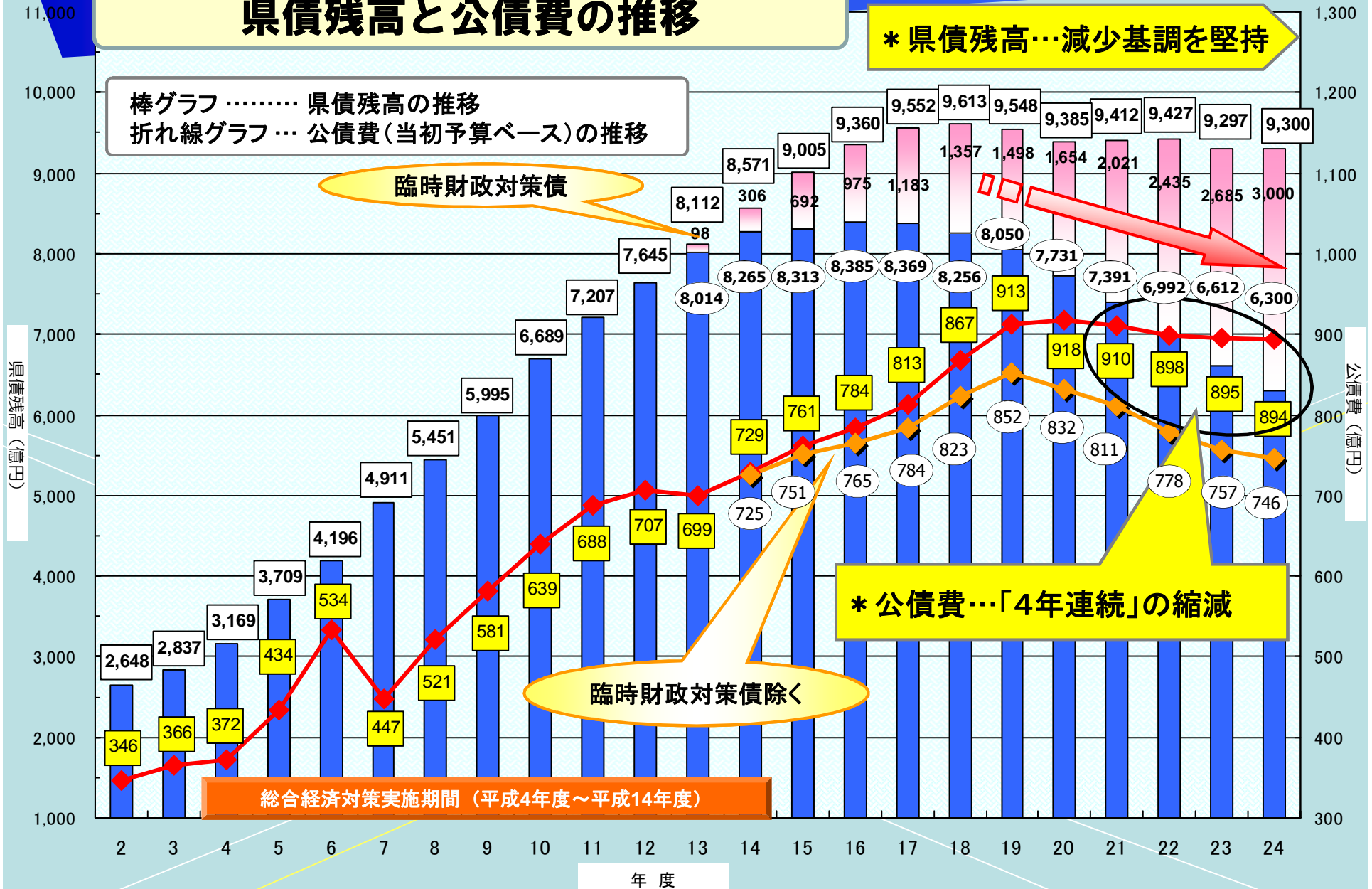
棒グラフ …… 県債残高の推移  
折れ線グラフ … 公債費(当初予算ベース)の推移

臨時財政対策債

臨時財政対策債除く

\* 公債費…「4年連続」の縮減

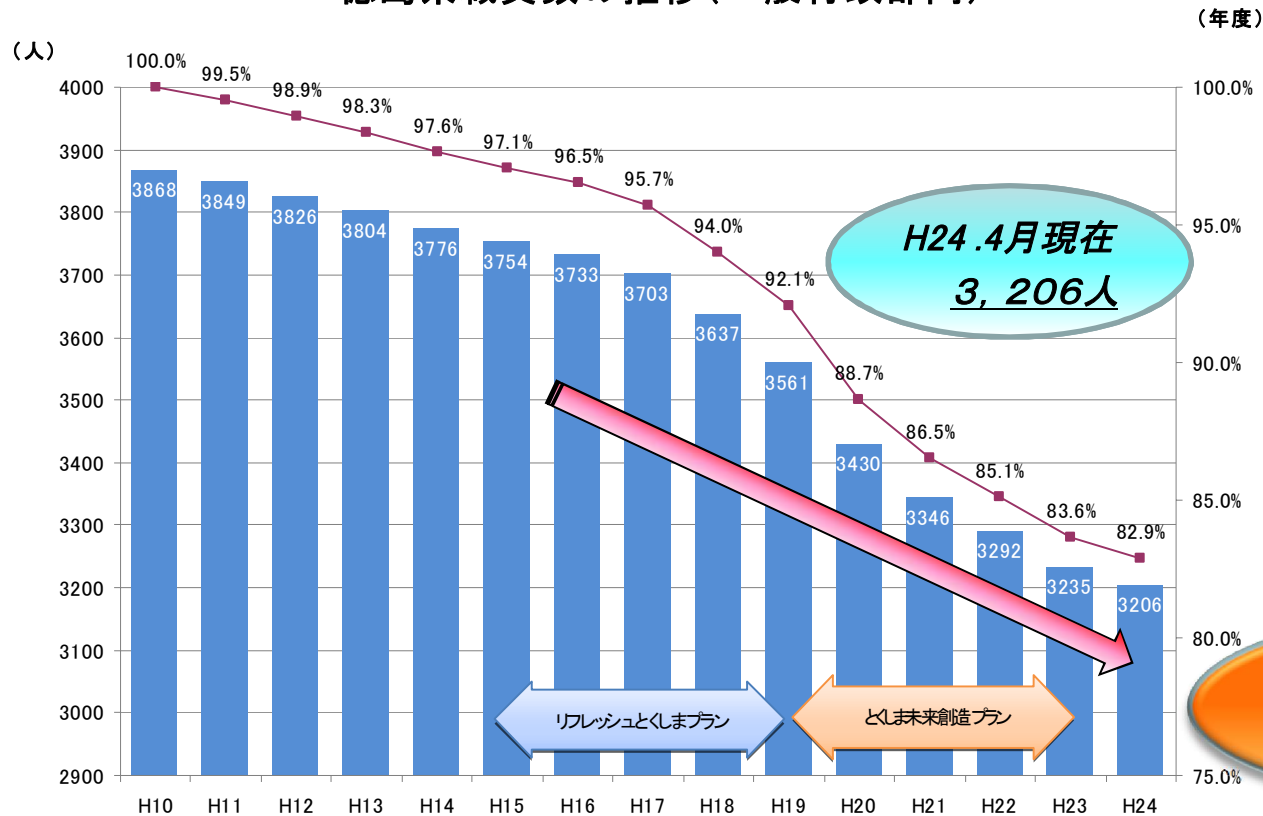
総合経済対策実施期間 (平成4年度～平成14年度)



## 2 「夢を支える経営体」づくり

### (1) 「新しい人事・人材システム」の推進 ～3,000人体制に向けて～

徳島県職員数の推移(一般行政部門)



「若者の雇用の場」  
の確保と  
「いびつな年齢構成」  
の是正に向け、

H24年度の採用は  
100名超！  
H25年度の採用枠も  
100名を確保

バランスのとれた  
「定員管理」へ！

今年度は「職場力」の強化に向けた取組みを実施(→資料2)

## (2) 「新時代に相応しい組織」の構築

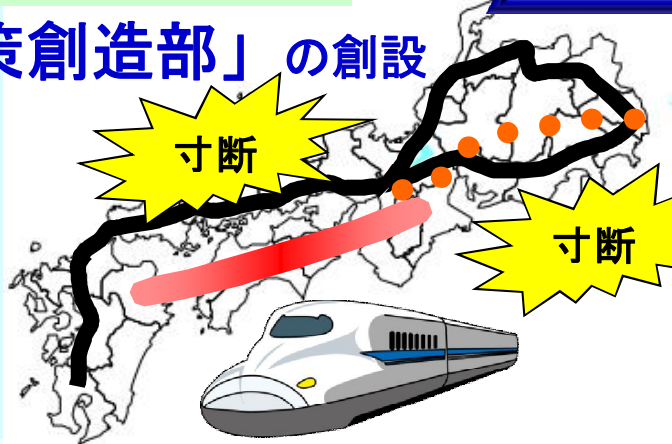
### ◆ 真の地方分権社会をリード

### 時代を先取りした「政策創造」の展開

H24.4月

### 「政策創造部」の創設

知恵は  
地方に  
こそあり！  
徳島発の  
政策提言



### 四国新幹線の実現！

- ・ 四国の地理的特性を最大限活用し、山陽新幹線のリダンダンシーの確保
- ・ 新幹線未整備地域の解消
- ・ 四国に最も大きい経済効果を発揮

### ◆ 危機管理体制の充実強化

### 三連動地震 への備え

H24.4月

### 「徳島県防災人材育成センター」設置

- ・ 防災人材の育成  
→ 地域防災リーダー、災害ボランティアコーディネーター等
- ・ 防災生涯学習コース  
→ 夜間防災セミナー、防災テレビ講座等
- ・ 寄り合い防災講座



H24年中

### 「徳島県防災・危機管理センター(仮称)」整備

- ・ 災害対策本部機能を強化
- ・ 自衛隊や防災関係機関と連携した災害応急体制の確保

### ◆ 「中小企業の総合的な応援拠点」の構築

### 一体整備

徳島経済産業会館  
(KIZUNAプラザ)  
(H24.4始動)

連携

中央テクノスクール  
(H25.4開校予定)

- ・ 経済団体等との連携、総合調整、事業推進
- ・ 職業訓練の充実や就労支援の強化

H24.4月

### 「産業人材育成センター」設置

実践力のある  
産業人材の育成！

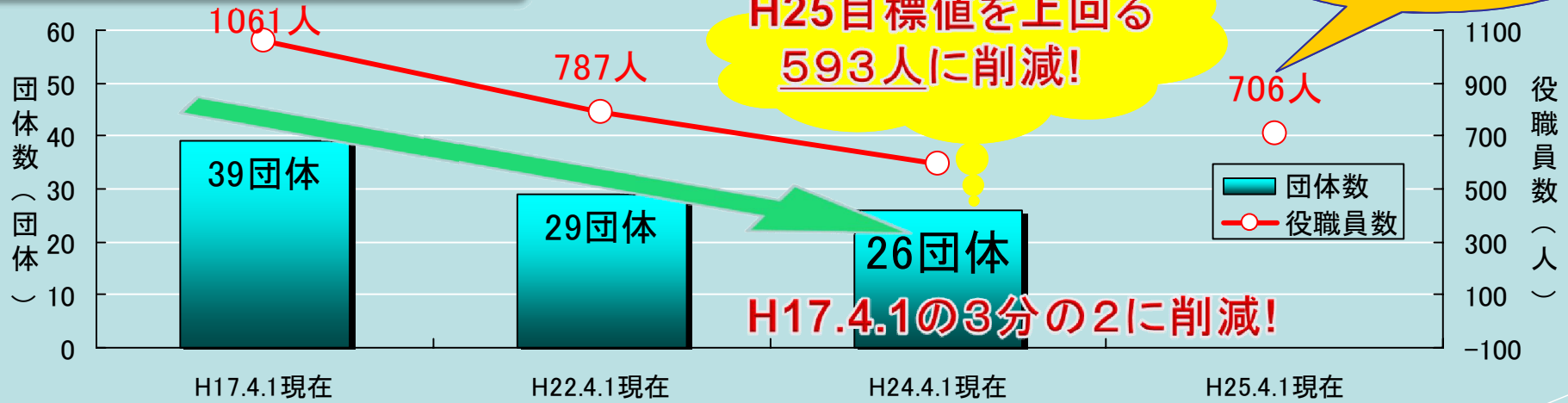


着々と整備が進む  
「中央テクノスクール」

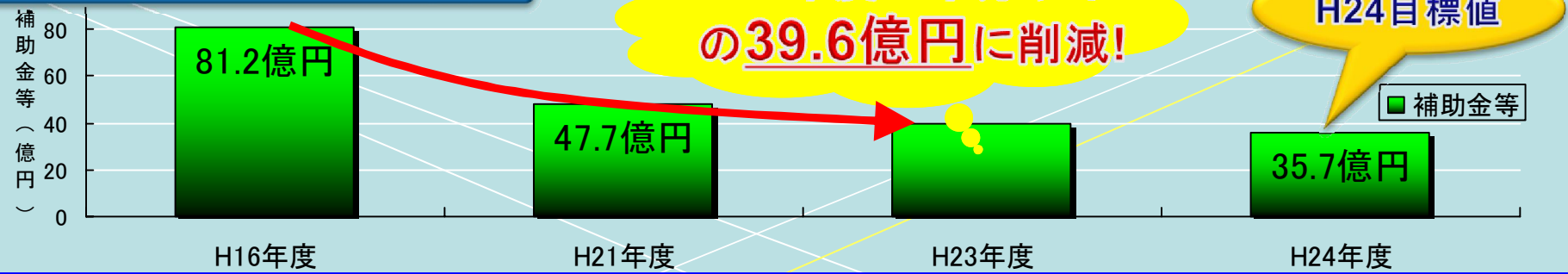
# (3) 「公営企業等経営」の新たな展開 ～外郭団体の経営改善状況～

## ◆第1期及び第2期経営改善計画によるこれまでの取組み成果

### 団体数と役職員数の推移



### 県からの補助金等の推移



目標に向けて順調な取組みが推進  
今年度、第2期経営改善計画が終了

各団体ごとに次期経営改善計画を策定し、更なる経営の健全化に挑戦!



### 3 「新しい公共サービスの仕組み」づくり

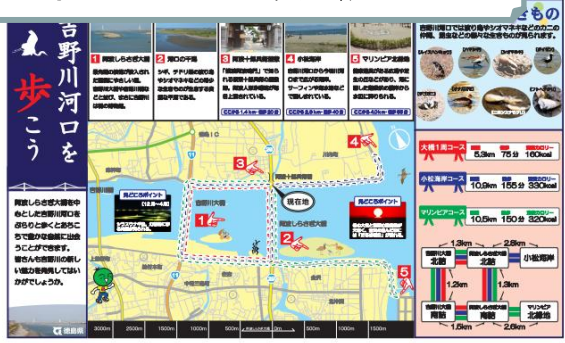
#### (1) 「新しい行政モデル」の展開

～社会資本の新たな活用～  
～県有施設の省エネルギー化の推進～

#### ◆「阿波しらさぎ大橋」の周遊コース案内板等の整備

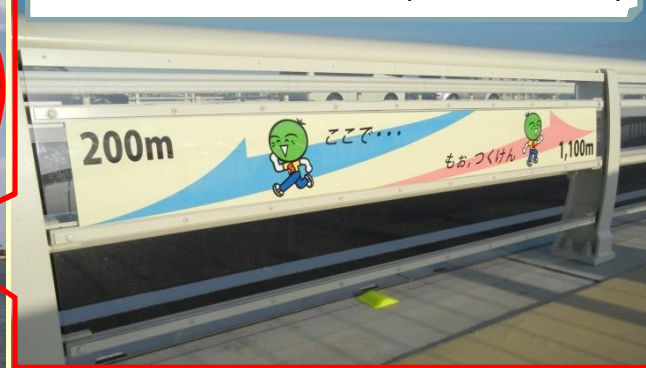
～「きて・みて・あるいて」とくしまのみち魅力増進モデル事業(たちどまって大橋)～

周遊ルートのご案内板の設置



4月25日に開通した阿波しらさぎ大橋

歩道に距離標の設置(約200m間隔)



▶『新たな観光資源』、『県民の健康増進』、『津波発生時の一時避難場所』の効果発現に期待!

#### ◆県企業局による再生可能エネルギー設備導入の推進

～「マリンピア沖洲太陽光発電建設事業」～

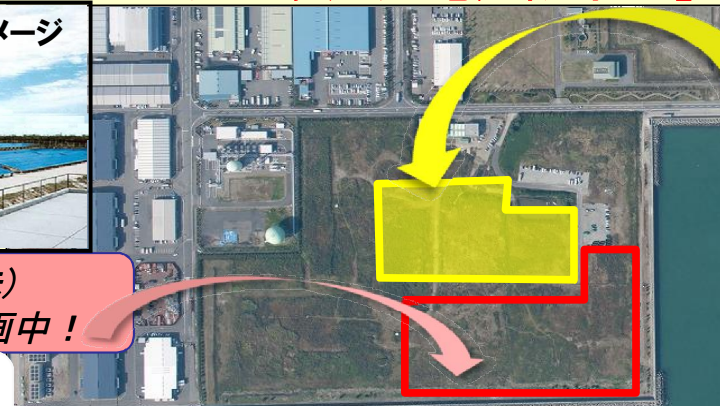
公営企業では「西日本初」!

今秋着工  
予定

太陽光パネル設置イメージ



ソーラーウェイ(株)  
(2.9ha)建設計画中!



マリンピア沖洲廃棄物最終処分場跡地

他2カ所で民間  
の誘致が決定!

電力の安定供給  
二酸化炭素の削減  
未利用地の有効活用

・県民生活の安定  
・県内産業の活性化

さらに、赤石地区には、「災害時の非常用電源」機能を備えたメガソーラーを建設予定

## (2) 「新しい公共」の推進

### 新しい「産学官」連携の展開

H24.4月

徳島大学工学部に  
「農工連携スタディーズ」開講

中四国で唯一、大学に農学部がない

- ・工業から農業へのアプローチ
- ・基幹産業(農業)の人材養成
- ・県職員も講義を担当

ピンチをチャンス!  
逆転の発想

「農工商連携学部・学科の創設」を目指す!

H24.4月

「木材利用創造センター」開設

- ・木材を巡る「技術的課題解決」、  
「魅力的な商品開発」等を行う  
産学民官の連携拠点

商品開発 情報発信 性能評価 人材養成



### 県民、NPO等との協働事業の推進

◆とくしまマラソン2012  
「四季彩マラソンロード」プロジェクト

- ・NPOから寄付を受けた蜂須賀桜の  
苗木を吉野川堤防に植栽し、  
マラソンコースの魅力アップ



◆「徳島県大規模災害・被災者等支援基金」  
の創設

- ・災害対応版の「新しい公共の形」
- ・被災地の復興・被災地との交流促進に

更に「三連動地震」に活かす

### 指定管理者制度の推進

◆H18から制度導入し  
現在42施設で指定管理者による管理

効果

- ・利用者に対するサービス向上
- ・管理運営費の削減 など

・利用時間の拡大  
・24時間管理の実施  
(駐車場) 等

新規導入施設の拡大

H24.7月  
募集開始



アクアきらら月見が丘

### (3) 「地方の時代」に向けた連携強化

市町村との連携による  
「とくしま集落再生プロジェクト」  
の推進

H24. 3月  
集落再生の成功事例を創出するための  
36の具体的な取組策を提示

H24. 6月  
プロジェクトの着実な推進を図るため、  
「新過疎対策戦略会議・  
とくしま集落再生推進部会」を設置

先進的な集落再生の成功事例を  
「とくしま発」のモデルとして発信！

実証実験から本格展開へ  
「とくしまサテライトオフィスプロジェクト」

全国屈指の「ブロードバンド環境」を活かし  
古民家など「空き家」を  
首都圏企業のサテライトオフィスとして展開！  
現在、神山町・美波町に9社が進出 地元雇用8名創出

H24. 3月  
官民協働でさらなる誘致を推進する  
「プロモーションチーム」を設置。  
第1弾として、日本マイクロソフト社  
社長ら首都圏のICT企業関係者30名  
がサテライトオフィス  
を視察



米マイクロソフト本社から  
徳島の取組を全世界に発信

H24 秋  
神山町でサテライトオフィスの「集積施設」を整備し、  
さらなる誘致活動を展開

#### 四国広域連合（仮称）設立合意（H24.2.4 四国知事会）

##### 権限移譲

国の出先機関丸ごと移管へ

- ・ 特例法による広域連合への移譲
- ・ 「ブロック単位」で権限移譲
- ・ 第1弾として経済産業局を移管

##### 持ち寄り事務

四国の喫緊の課題に対応

- ・ 四国に深刻な被害をもたらす「野生鳥獣害対策」
- ・ 「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録
- ・ 中国をはじめとした「東アジア戦略」

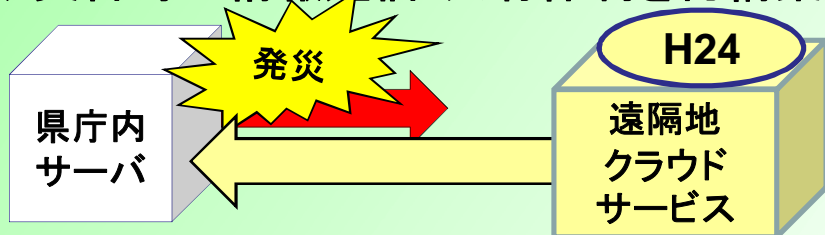
# 4 「県民目線の県政」づくり

## (1) 「情報提供」の更なる推進

### ◆徹底した「情報公開制度」

知事部局の情報公開度ランキング  
4年連続全国1位(H19~H22)

### ◆災害時の情報通信・共有体制を再構築



「県庁HP」と「安心とくしまネットワーク」のシステム運用を完全二重化！

### ◆動画による情報発信の更なる推進

県庁HP（インターネット放送局）



**2CH 魅せる！  
とくしまムービー**

・県職員自らが作成し、県政情報を動画でわかりやすく発信

・Youtubeでも配信

## (2) 「公平・公正な県政」の推進

### ◆本県ならではの

「新たな事業評価システム」の構築

・H23から「政策立案」と「政策評価」を分離



・H24はさらに

団体に対する「指導」と「検査業務」を分離

H24.4月

知事直轄組織の

「監察局」に「評価検査課」を設置

## (3) 「県民参加の県政」の推進

### ◆県民意見の県政への積極的反映

#### 県政運営評価戦略会議

- ・とくしま目安箱
- ・宝の島・徳島わくわくトーク
- ・知事・市町村長会議 などの「意見や提言」

「優れた提言」を採用

#### 総合計画審議会

提言の積極的な反映により

- ・既存事業の見直し
- ・新たな施策・事業展開
- ・徳島発の政策提言

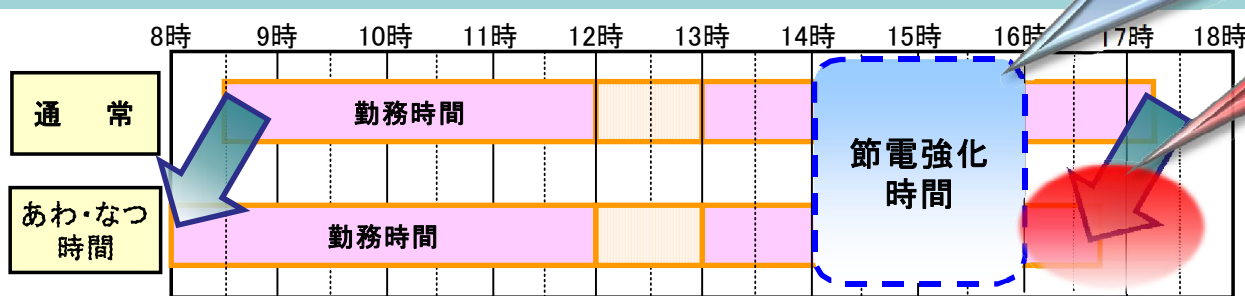
# 5 「活力みなぎる職場」づくり

## (1) 「ワーク・ライフ・スタイル」の変革

### 進化する「あわ・なつ時間」

#### ～徳島県版サマータイム実証実験の拡大～

- 目的
- 夏場の厳しい電力需給への対応
  - 将来に向けた新たなライフスタイルへの転換
  - 県率先による官民一体の取組み



15時前後に「節電強化時間」を設定

- ・集中的な節電対策強化（ピークカット）
- ・業務の分散化（ピークシフト）

超勤縮減に向けた取組強化

- ・定時退庁等の促進
- ・積極的な業務の見直し

県庁のみならず、民間企業や市町村等へ働きかけ

## (2) 「意欲あふれる職場」の構築

### ジョーリ・プラスを活用した新たな業務改善の取組

#### ～組織や庁舎を越えたプロジェクトの促進～

ジョーリ・プラスは・・・

- 組織内における課題解決のためのプロジェクトチーム
- 組織横断型のワーキンググループ
- 離れている庁舎間 など

における意思決定やコミュニケーションを支援・促進する、職員向けICTツール



#### 【主なプロジェクト】

- 経営戦略化プロジェクト  
[部の方向性検討・情報共有]
- 渇水対策プロジェクト  
[H24夏渇水の情報共有]
- 地理空間情報利活用プロジェクト  
[地理空間情報の活用促進]
- にし阿波観光圏プロジェクト  
[圏域内観光振興の情報共有]

さらに増加中！



**「県民の夢や希望の実現」に向けて**

「とくしま未来創造プラン」  
～徳島からの新たな挑戦～